

23区「清掃工場故障週報」平成28年度(工場別)

目黒清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
68	1号炉	休炉	H29.1.29	23:35	H29.2.8	10:00	灰コンベヤのスクレーパが脱落し、灰コンベヤが過負荷により停止した。
64	1号炉	休炉	H29.1.14	10:30	H29.1.25	19:13	灰クレーンのケーブルハンガーが脱落し、給電ケーブルを損傷した。灰の積み出し作業ができなくなったため、1号炉を立ち下げた。
36	1号炉	休炉	H28.9.27	17:00	H28.10.12	15:44	2直時の巡視点検時に発見。1号炉内点検口より内部確認した際、主灰シュートがブリッジしていることを確認した。調査のため焼却炉を立ち下げた。
33	2号炉	休炉	H28.9.14	10:00	H28.9.21	15:15	1直時の巡視点検時に発見。蒸気式ガス再加熱器(SGH)～脱気器へのドレン配管(逆止弁本体)の蒸気洩れのため、焼却炉を立ち下げた。
17	2号炉	休炉	H28.7.17	10:30	H28.7.27	15:21	1直時の巡視点検時に発見。ボイラ給水配管(中温エコノマイザ～ボイラへの配管)からの漏洩のため、焼却炉を立ち下げた。

有明清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
82	ごみクレーン		H29.3.12	8:05	H29.3.15	16:00	日曜搬入のために2号ごみクレーンを手動運転していたところ、ケーブルリールが故障したため、給電ケーブルの巻取りが行えなくなった。使用を停止し、1号ごみクレーンに切り替えた。
56	共通	休炉	H28.12.16	8:30	H28.12.21	11:47	蒸気復水器入口エア抜き配管の腐食により蒸気漏れが発生したため、焼却炉を立ち下げた。
50	T/G		H28.12.5	13:27	H28.12.5	20:02	蒸気タービン発電機タービンスラスト軸位置異常警報が出てタービントリップが発報したため、発電機が停止した。
15	1号炉	休炉	H28.6.27	11:25	H28.7.5	2:25	復水タンクレベルの測定値下限警報が発報した。現場確認したところ、液位伝送器が破損していた。各設備に給水できなくなるため、稼働中の1号炉を緊急停止した。

千歳清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
84	ごみクレーン		H29.3.25	1:20			No.1ごみクレーン自動運転中、開閉電動機過電流によりサーマルトリップし、バケットの開閉ができなくなったため、使用を中止した。
55	1号炉	休炉			H28.12.23	2:35	No.1ボイラダストコンベヤの振動の原因を調査するため、焼却炉を立ち下げた。
43	1号炉	休炉	H28.10.16	11:00	H28.10.22	18:05	第1放射室後壁管寄せ周辺より蒸気漏れが発生した。蒸気漏れ箇所の調査及び補修のため、焼却炉を立ち下げた。
35	灰クレーン	停止	H28.9.26	10:13	H28.9.27	17:00	灰クレーン開閉用の給電ケーブルが灰クレーンの爪に引っ掛かり、断線した。バケットの開閉ができないため、クレーンの使用を停止した。
13	1号炉	休炉	H28.6.14	21:03	H28.6.17	2:04	右側乾燥ストーカの電磁切換弁故障のため後進動作ができなくなった。電磁切換弁交換のため焼却炉を立ち下げた。

23区「清掃工場故障週報」平成28年度(工場別)

江戸川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
81	2号炉	休炉	H29.3.6	20:36	H29.3.18	10:47	減温塔入口ガス圧力が低下し、ボイラ伝熱管部(スクリーン管部)の閉塞が疑われるため焼却炉を立ち下げた。
71	1号炉	休炉	H29.2.9	19:44	H29.2.24	10:22	減温塔入口ガス圧力が低下し、ボイラ伝熱管部(スクリーン管部)の閉塞が疑われるため焼却炉を立ち下げた。
63	共通	休炉	H29.1.1	12:00	H29.1.13	9:29	給熱蒸気だめ用減温装置(共通設備)のドレン弁の止水不良により、当該装置内部の水面レベルが維持できず、窒素酸化物除去設備のアンモニア温度の維持が困難になったため、1号及び2号焼却炉並びにタービン発電機を立ち下げた。
41	1号炉	休炉	H28.10.6	10:00	H28.10.16	13:50	減温塔入口ガス圧力が著しく低下し、ボイラ部の閉塞が疑われるため焼却炉を立ち下げた。
34	2号炉	休炉	H28.9.20	10:17	H28.9.29	8:06	2号減湿水ポンプ運転時、減湿用冷却器行き配管の伸縮継手が破孔し、減湿水が漏れていた。補修のため焼却炉を立ち下げた。

墨田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
83	灰クレーン		H29.3.17	7:32	H29.3.17	16:45	灰搬出作業中、灰クレーンパケットの開閉ができなくなった。パケット内の油圧装置から、作動油が漏れてパケットの開閉ができなくなっていた。灰クレーンを停止し、灰搬出作業を中止した。
48	1号炉	休炉	H28.11.16	15:58	H28.11.19	15:42	主蒸気止め弁のフランジより蒸気漏れがあり、復旧できないため焼却炉を立下げた。
46	1号炉	休炉	H28.11.11	4:34	H28.11.16	14:43	蒸気式ガス再加熱器の蒸気流量調節弁の電空ポジションナーが故障した。そのため、排ガス温度を維持できず、窒素酸化物除去が正常に行われなくなり、復旧の見込みが立たないため焼却炉を立下げた。
8	1号炉	休炉	H28.5.19	2:11	H28.5.19	11:49	プラント動力系統に含まれる建築一般動力系統のファンが漏電により故障し、プラント動力系統の主幹がトリップしたため焼却炉が停止した。
4	1号炉	—	H28.5.3	17:57	H28.5.3	23:10	No.2冷却水揚水ポンプの漏電により保安動力制御盤がトリップし、焼却炉が停止した。

北清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
27		—	H28.8.31	8:05	H28.8.31	18:00	ごみバンカゲートの開閉異常が発生し、全てのゲートが開閉できず、ごみ搬入ができなくなった。
2	1号炉	休炉	H28.4.7	13:00	H28.4.29	10:11	蒸気式空気予熱器の加熱管から蒸気漏れが発生した。調査、補修のため焼却炉を立ち下げた。

新江東清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
66	T/G		H29.1.24	23:17	H29.2.28	17:21	タービン発電機の後部軸受温度警報(設定75℃)が発報し83℃まで上昇した。経過観察していたが、温度低下が見られなかったため、発電機を停止した。
62	3号炉	休炉	H29.1.2	15:15	H29.1.17	18:40	1月2日15:00頃日常点検にてSGHスチーム入口側ノズル付近より蒸気漏れを発見し経過観察を行っていたが、1月4日8:30頃蒸気漏れが多くなってきたため、立下げを行った。
60	1号炉	休炉	H28.12.29	20:59	H28.12.30	13:30	煙突入口ばいじん計の検出部加温ヒータ故障に伴い、排ガス中の液化した水分が、測定部(光散乱)に検知されたことにより、ばいじんとして誤検知された。
9	No.1ごみ	停止	H28.5.22	6:18	H28.5.23	14:00	No.1ごみクレーン機上制御盤のリンク異常が発報。No.1ごみクレーン共用保護盤内の主幹電源を入切しても復旧しなかった。なお、警報発報時No.1ごみクレーンは格納しており、電源は切った状態であった。

23区「清掃工場故障週報」平成28年度(工場別)

港清掃工場 故障による休炉等なし

豊島清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
79	2号炉	休炉	H29.2.21	22:12	H29.3.17	18:07	点検時に脱気器付配管(SGDHレン戻り)より蒸気漏れを発見し、箇所の特定を行うため焼却炉を立ち下げた。
77	2号炉	休炉	H29.1.24	13:40	H29.2.21	20:05	炉内制御用入口ダンパ動作異常が発生しており、電油操作器制御プリント基板の不具合が原因と考えられる。焼却炉の運転に支障をきたすことから、補修のため焼却炉を立ち下げた。
69	ごみクレーン		H29.2.1	7:20	H29.2.10	18:15	バケットの開閉動作が緩慢となり点検すると、油量計で油量の確認ができないので運転を停止した。調査の結果、油圧ホースの亀裂箇所より油漏れ発生し油圧ユニット内に流出。また油圧ポンプ支持材も破損していた。
51	ごみクレーン		H28.12.6	1:00	H28.12.8	16:05	1号ごみクレーンバケットの開閉動作が緩慢となり点検すると、油量計で油量の確認ができないので運転を停止した。調査の結果、油圧ホースの亀裂箇所より油漏れ発生し油圧ユニット内に流出。また油圧ポンプ支持材も破損していた。
38	2号炉	休炉	H28.10.4	23:10	H28.10.10	21:03	ろ過式集じん器差圧異常が発生し焼却炉の運転継続が困難となった。調査のため焼却炉を立ち下げた。
37	1号炉	休炉	H28.10.1	13:38	H28.10.12	15:06	ごみ供給機がショックリレー作動により停止した。寸動運転が不可能なことから調査の結果、ローラチェーン(片側4リンク分のローラ及びリンクプレートが損傷・脱落)の破損を確認した。
28	2号ごみ	停止	H28.9.2	2:57	H28.9.2	17:30	バケット開閉用油圧モーターがサーマルトリップした。調査の結果、バケットと給電ケーブルのコネクタに不具合が見られたため、ごみクレーンの使用を停止した。

渋谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
29	1号炉	—	H28.9.3	18:07	H28.9.5	18:10	アンモニア酸化器レベル低が発報した。調査の結果、アンモニア酸化器レベル計が不良のため焼却炉を立ち下げた。
10	1号炉	—	H28.5.29	5:50	H28.5.30	18:15	No.4不燃物移送コンベヤのリンク部が破損したため、ごみ焼却ができなくなった。このため、焼却炉を立ち下げた。

中央清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
73	1号炉		H29.2.16	7:09	H29.2.16	18:15	冷却吸収塔液面制御弁不調により液面が下降傾向となり、緊急注水弁による補給で経過観察していたが、緊急注水弁二次側の逆止弁から漏水が発生した。塩化水素除去設備の運転が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
72	2号炉	休炉	H29.2.14	11:48	H29.2.18	16:35	ストーカ下コンベヤがトルク異常により停止した。現場にて正転及び逆転を実施し動作することを確認したが、その後も同故障が頻発したことから、調査のため焼却炉を立ち下げた。
61	1号炉	休炉	H28.12.31	15:45	H29.1.10	9:30	ストーカ下コンベヤがトルク異常により停止した。現場にて正転及び逆転を実施したが動作不能となり、調査のため焼却炉を立ち下げた。
58	灰クレーン		H28.12.27	14:15	H28.12.27	20:00	灰クレーンバケット点検時に作動油の量が油面計から確認できなかったため、バケット内部を確認したところ油圧ポンプユニットの電磁弁から油が漏洩していた。
3	灰クレーン	停止	H28.5.2	0:08	H28.5.2	18:00	灰クレーンが自動運転中に非常停止し、バケットの開閉ができなくなった。調査、補修のため灰クレーンを停止した。

23区「清掃工場故障週報」平成28年度(工場別)

板橋清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
67	ごみクレーン		H29.1.27	5:00	H29.2.2	16:30	バケットの開閉が不能となり、調査した結果、ケーブル不良だったためNo.2ごみクレーンの使用を停止した。
52	2号炉	休炉	H28.12.8	23:20	H28.12.16	13:57	灰押し装置の詰りが発生した。運転継続困難なため、2号焼却炉を立ち下げた。
32	1号炉	休炉	H28.9.13	14:11	H28.9.18	7:38	機器冷却水配管のドレン配管が折損し、冷却水が漏れた。運転継続困難なため、1号焼却炉を立ち下げた。
6	2号炉	休炉	H28.5.9	10:00	H28.5.20	10:26	2号焼却炉給じん装置周辺より炉内へ水漏れを確認した。運転継続困難なため、焼却炉を立ち下げた。

多摩川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
75	ごみクレーン		H29.2.18	9:00	H29.2.24	17:00	油圧ポンプからの油漏れを業者が補修していたところ、シリンダロッドピンが折損していることが判明。油漏れは補修完了したが、ピンは工場に在庫がないため、ごみクレーンの使用を停止した。
40	1号炉	休炉	H28.9.10	7:53	H28.10.16	18:34	1号ろ過式集じん器の入口差圧高(上限・上上限)が頻発し、差圧高状態が継続している。補修のため焼却炉を立ち下げた。
24	B号ごみ	停止	H28.8.16	11:00	H28.8.18	11:00	運転係の使用前点検で走行用減速機の固定ボルトの緩みを発見し増締めを行った。翌日、整備係で再確認したところ固定ボルト及び緩衝ゴムが摩耗していた。走行に支障があるため、ごみクレーンの使用を停止した。

足立清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
78	1号炉	休炉	H29.2.21	17:00	H29.2.25	8:09	ごみクレーン点検時、1号炉ごみホッパシュート上部で微かな煙が見られた。ホッパゲート付近のシュート内側を注水したが、一部ケーシングが熱かったため焼却炉を立ち下げた。
74	ごみクレーン		H29.2.15	1:13	H29.2.16	16:30	バケット用給電ケーブルリールの巻上げ不良により給電ケーブルが弛み、バケットの爪に引っかかったため、給電ケーブルが断線した。バケットの開閉ができないためクレーンを停止した。
65	2号炉	休炉	H28.12.21	20:30	H29.1.27	9:25	2号No.2ボイラ給水ポンプ吐出側配管(手動弁二次側フランジ部)より液漏れが発生した。増し締めを実施したが、再度液漏れが発生したため焼却炉を立ち下げた。
47	2号炉	休炉	H28.11.11	19:51	H28.11.17	8:20	排気復水器が漏電リレー動作により全台数停止した。復水の必要保有量が確保できないことから焼却炉を停止した。
44	1号炉	休炉	H28.10.18	17:00	H28.12.23	11:01	乾燥下ホッパシュートの主灰堆積が発生した。槌打等にて解除は完了したが、カーボン等の付着によるホッパシュート内火災が懸念され、調査のため焼却炉を立ち下げた。
26	2号炉	休炉	H28.8.22	9:30	H28.8.27	2:53	No.1灰押し装置の動作不良が発生した。主灰の搬出ができないことにより、焼却炉を立ち下げた。
25	1号炉	休炉	H28.8.17	13:07	H28.9.2	10:03	1号ろ過式集じん器下のNo.2パドルコンベヤ故障が発生した。飛灰の搬送ができないため焼却炉を立ち下げた。
23	2号炉	休炉	H28.8.16	16:00	H28.8.22	6:04	2号炉ストーカ下ホッパシュートの閉塞が発生した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
19	1号炉	休炉	H28.7.21	15:30	H28.8.3	11:52	蒸気式ガス再加熱器より蒸気漏れが発生した。補修のため焼却炉を立ち下げた。
11	T/G	停止	H28.6.2	6:13	H28.6.2	14:47	蒸気タービン発電機AVR故障によりタービン発電機が停止した。

23区「清掃工場故障週報」平成28年度(工場別)

品川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
70	2号炉	休炉	H29.2.10	11:17	H29.2.14	11:38	減温塔のロータリスクレーパで過負荷が発生し、灰の搬出が出来なくなった。調査及び補修のため、焼却炉を立ち下げた。
7	2号炉	休炉	H28.5.10	9:40	H28.5.20	14:34	減温塔のロータリスクレーパで不具合が発生し、灰の搬出が出来なくなった。調査及び補修のため、焼却炉を立ち下げた。

葛飾清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
80	ごみクレーン		H29.2.28	23:41	H29.3.2	10:30	No. 1ごみクレーンの給電ケーブルが、バケットに巻き込まれ開閉動作不良となったため、クレーンを停止した。
53	1号炉	休炉	H28.12.9	23:14	H28.12.27	11:40	12月9日(金)23:00頃から1号ボイラドラムレベルが減少傾向であったため、給水・蒸気配管の現場確認を行ったが異常はみられなかった。調査のため、焼却炉を立ち下げた。

世田谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
49	2号炉	休炉	H28.11.19	14:21	H28.12.16	14:14	燃焼熔融炉バッフル部の差圧が、スラグ及びクリンカ付着により上昇傾向となり、運転継続が困難となったため焼却炉を立ち下げた。
45	1号炉	休炉	H28.10.25	15:34	H28.11.9	13:31	破碎ごみ搬送装置の過トルクが頻発し、またバッフル差圧が高く運転継続が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。
30	1号炉	休炉	H28.9.8	11:30	H28.9.19	11:14	燃焼熔融炉流下口でスラグの流化不良が見られ、燃焼状況の悪化傾向が改善しないので、内部調査のため、焼却炉を立ち下げた。
18	2号炉	休炉	H28.7.21	5:40	H28.8.23	12:53	スラグカッター破損によりスラグバーナ口がスラグで閉塞し、スラグバーナの運転が困難となった。その影響によりスラグ流下口が閉塞の恐れがあるため、焼却炉を立ち下げた。
14	2号炉	休炉	H28.6.15	13:00	H28.6.22	12:01	砂分級装置下部より砂漏れがあり焼却継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
5	1号炉	休炉	H28.5.6	17:00	H28.5.14	10:10	空塔部の温度が上昇し砂層が流動不良となった。そのため、ごみ焼却が継続出来なくなったため、焼却炉を立ち下げた。

大田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
59	ごみクレーン		H28.12.28	4:48	H28.12.29	18:55	No. 2ごみクレーン『開閉動作異常(インパータ)』、『開閉ELCBトリップ』が発生し、開閉操作ができなくなった。絶縁抵抗測定の結果、開閉用電動機の絶縁不良が疑われたため、ごみクレーンを停止した。
54	T/G		H28.12.11	9:26	H28.12.12	17:07	蒸気タービン発電機立上げ完了後の点検において、シーリング蒸気配管のフランジ部分でボルト2本が脱落していることを発見した。運転中の補修作業及び長期の運転継続は困難なため、蒸気タービン発電機を停止した。
21	2号炉	休炉	H28.5.6	7:51	H28.8.6	8:32	触媒反応塔差圧高(上限・上上限)が頻発し、差圧高の状態が継続しているため、焼却炉を立下げて触媒反応塔内の調査を行う。
20	1号炉	休炉	H28.4.28	15:53	H28.7.30	9:36	触媒反応塔差圧高(上限・上上限)が頻発し、差圧高の状態が継続しているため、焼却炉を立下げて触媒反応塔内の調査を行う。

23区「清掃工場故障週報」平成28年度(工場別)

練馬清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
76	2号炉	休炉	H29.2.10	18:00	H29.2.24	11:49	2号焼却炉のストーカ循環水の漏れ調査のため、焼却炉を立ち下げた。
57	1号炉	休炉	H28.12.27	7:39	H29.1.5	11:47	コンベヤチェーンリンク外れ及びスクレーパ外れ複数あり。外れ箇所周辺に作業を行なうのに適切な点検口無し。補修に時間がかかることが想定されるため、焼却炉を立ち下げた。
42	2号炉	休炉	H28.10.12	15:30	H28.10.15	15:16	東電の大規模停電の影響により、所内主要設備がトリップし2号炉が停止した。なお、再立ち上げを試みるも、ごみクレーンの荷重計が故障しており焼却量の管理ができず、焼却炉を立ち下げた。
39	2号ごみ	停止	H28.10.6	17:10	H28.10.7	17:30	2号ごみクレーンに重故障が発生し、パケットの巻き上げ下げが不能となったため、ごみクレーンを停止した。
31	2号炉	休炉	H28.9.2	10:00	H28.9.16	11:37	No.2ボイラ用減温器の不具合調査のため焼却炉を立ち下げた。
22	2号炉	休炉	H28.6.4	18:00	H28.8.19	11:32	触媒反応塔差圧高が頻発することにより、調査補修のため焼却炉を立ち下げた。
16	1号炉	休炉	H28.6.18	18:00	H28.7.15	11:47	触媒反応塔差圧高が頻発することにより、調査補修のため焼却炉を立ち下げた。
12	1号炉	休炉	H28.6.13	10:00	H28.6.18	15:18	ろ過式集じん器ホツパの破孔を確認した。補修のため焼却炉を立ち下げた。
1	1号炉	休炉	H28.4.3	6:00	H28.4.8	11:27	1号灰押出装置の動作不良により、主灰シュートが閉塞した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。

多摩川清掃工場灰溶融炉・葛飾清掃工場灰溶融炉は故障による休炉等なし